



自然共生社会の構築

国内外で進む化学物質の規制強化や法整備に対応していくとともに、製品開発と生産工程の両面で環境負荷物質の低減を進めています。また、生物多様性の取り組み指針を定め、保全活動や地域への貢献活動を通じて、自然と共生する社会の実現に向けた取り組みを展開しています。

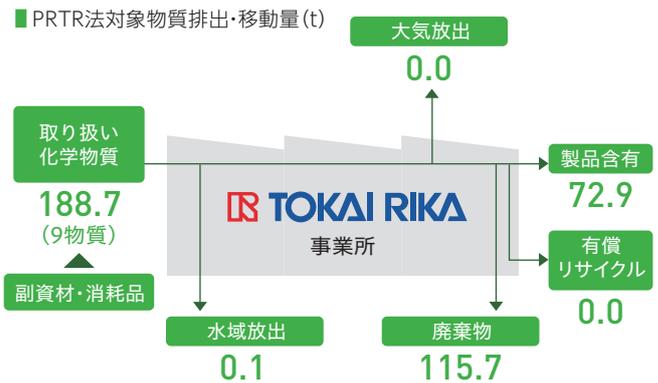
環境負荷物質の低減

生産活動における環境負荷物質の低減

人や環境へのリスクを低減していくため、材料の切替えや塗装工程改善など、環境負荷の高いVOCやPRTR法対象物質の低減に取り組んでいます。中国拠点では、VOCの規制強化に合わせて、スイッチ製品の塗料、インクをキシレン非含有のものへ切替えました。

製品含有化学物質管理の充実

化学物質規制の各国動向を把握し、製品含有化学物質に配慮した設計を開発段階から行っています。スイッチ製品で使用する接着剤には、REACH規則の対象物質であるノンルフェノールエトキシレートが含まれているため、2019年度から2020年度にかけて非含有の接着材へ切替えました。



スイッチ製品

環境保全・生物多様性保全の推進

生物多様性の取り組み指針

指針	実施事項	指針	実施事項
① 社会と連携し自然を育む	<ul style="list-style-type: none"> 地域やオールドヨタとの協働による多様性を育む社会づくり 啓発による社員の意識高揚と行動の促進 	③ 自然と共生する事業活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 水域保全、CO₂低減、資源循環、環境負荷物質低減
② 自然にやさしい技術の導入	<ul style="list-style-type: none"> 軽量化・リサイクル配慮設計、化学物質管理 	④ 積極的な情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み内容の発信

地域貢献につながる生物多様性の取り組み

東海理化グループでは、生物多様性保全の取り組みを地域や行政と連携して行っています。2020年度は、ラムサール条約に登録されている矢並湿地の保全活動や岡崎市おおだの森での散策路整備を行いました。

また、TRMN(インド)では、世界環境デーにおける環境取り組みとして、地域の在来種を用いた植樹や、社員へ苗木を配布しました。



矢並湿地保全活動



おおだの森 里山保全活動



在来種を用いた植樹



社員への苗木配布